

スキマ時間に楽しめる本

電車待ちや待ち合わせなど、なんとなく手持無沙汰になってしまうスキマ時間。今回はそんなスキマ時間に少しずつ楽しめる本を3冊ご紹介します。

1冊目は、学研教育出版『5分後に意外な結末 1』です。

タイトルの通り、さくっと読める短い小説が約30編収録されています。内容はSFからミステリーまで幅広く、どれも意外な結末で締めくくられます。名作小説や落語、都市伝説などにアレンジを加えて短く書き直している作品も多いので、気に入ったお話の原作を調べるのもまた面白いです。

現在5巻まで出版されていますが、どの巻から読んでも楽しめます。物語を読み慣れていない方にも気軽に読める一冊です。

2冊目は、おかべたかし/文・山出高士/写真『目でみることば』です。

表紙には大きなタコの干物の写真。実はこの写真、本文の中で「引っ張りだこ」の説明に使われているものなのです。

この本は、言葉の由来になったものを実際に写真にとって、説明を加えた雑学写真集です。「うだつが上がらない」、「折り紙つき」、「鎚を削る」、「拍車をかける」など、言葉は知っていても、由来となったもののイメージがわきづらい言葉を1単語4ページで紹介しています。

たとえば、阿漕な商売の「阿漕」は元々は三重県にある地名から、依怙鼻肩の「鼻肩」は中国の伝説の生き物のことからなど、目からうろこの知識が満載。素敵な写真を眺めながら言葉と歴史の奥深さが堪能できる一冊です。

3冊目は、池田浩明/著・山本ゆりこ/著『おかしなパン～菓子パンをめぐるおかしくてためになる対談集～』です。

パンの研究所「パンラボ」主宰の池田浩明さんと菓子と料理研究家の山本ゆりこさんの二人がメロンパンやアップルパイなどのお菓子みたいなパンについて語り合います。

パンごとに章が分かれているので、どこからでも好きなパンのページから読むことができます。歴史や豆知識だけでなく、自宅でできるおいしいパンのレシピや食べ方、140軒のパン屋さん情報と、パンのお話が盛りだくさん。様々なパン屋さんのパンを写真で見比べることもできます。

お菓子が好きな人もパンが好きな人も見ているだけでお腹がいっぱいになれる一冊です。

図書館には、他にもさまざまな本があります。ぜひご利用ください。